事業番号	15 08 12	事業改善シート(25年度実施事業分) □-	予算要求	口当初予算到	案 □補正予算案 ■点検	
事業名		実践的防災教育総合支援事業	担	部局	教育委員会事務局	
尹 未 石	关战时的火铁月稻日又饭事未			課・室	保健厚生課	
40 A = 1. F	プロジェクト		—— 当 課	E-mail	hokenko@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年 計画	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育のオ	定実			
П	旭米の松日印展開	◆安全・安心・信頼の学校づくり		実施期間	平成24年度 ~	

1 事業の概要

争未の	似女						
目指す姿	(文部科学省委託事業) 実践的防災教育総合支援事業実施要項に基づき、学校に緊急地震速報器を設置し、災害発生時に児童生徒自らが危険を回避するための訓練等、実践的な防災教育の指導法を構築する。また、防災アドバイザーを市町村教育委員会等に派遣し、専門的な見地から防災に関する指導助言を行うための支援を行う。						
現状	○緊急地震速報器の導入 H24年度15校15台設置 ○防災アドバイザーの委嘱と、緊急地震速報器を導入した市町村教育委員会へのアドバイザーの派遣 アドバイザー5名委嘱						
県が関与 する理由							指定都市とさ
	① 成果目標(H25)						
	○地震発生時の危険回避行動能力の向上等、学校における実践的な防災教育の指導方法を構築する。○学校防災マニュアルの見直しなど学校における防災管理体制の充実を図る。						
	② 事業内容					` .	单位:千円)
	項目 実施方法 H25事業実績				H2		H26
					(当初)	(決算)	(当初)
	緊急地震速報器導入	直接	県内学校のうち、10校に緊急地震速報器を	を導入した。	4,725	1,365	2,700
声类力应	防災アドバイザー派遣	直接	防災アドバイザー4名を委嘱し、専門的な身業実施市町村へ派遣した。	見地から事	1,366	754	1,713
事業内容							
				合計	6,091	2,119	4,413

事類 補正予算 -3,360 合計(A) 0 6,007 2,731 4,413 国庫支出金 6,007 2,731 4,413 県債 場債 -般財源 0 0 0 0 0 0 大算額(B) 4,078 2,119		×	区 分(単位:千円)		23年度	24年度	25年度	26年度
事 類 補正予算		-		前年度繰越				
# 合計(A) 0 6,007 2,731 4,413 国庫支出金 6,007 2,731 4,413 県 債		予質		当初予算		6,007	6,091	4,413
# 合計(A) 0 6,007 2,731 4,413 国庫支出金 6,007 2,731 4,413 県 債	事	額		補正予算			-3,360	
国庫支出金 6,007 2,731 4,413 4,415 4,	丵			合計(A)	0	6,007	2,731	4,413
大り その他(一般財源 0 0 0 大り 第 額(B) 4,078 2,119	\			国庫支出金		6,007	2,731	4,413
一般財源 0 0 0 決算額(B) 4,078 2,119	⊐			県 債				
一般財源 0 0 0 決算額(B) 4,078 2,119	7	財源	系	その他()				
1 31 21 21	^	`		一般財源	0	0	0	0
	7	決	算 額(B)			4,078	2,119	
		概算		職員数(人)		0.40	0.40	0.40
人件費 概算人件費 (C) 0 3,303 3,303 3,303		人件書		概算人件費 (C)	0	3,303	3,303	3,303
概算事業費(B(A)+C) 0 7,381 5,422 7,716		概算	算事業費(B(A)+C)		0	7,381	5,422	7,716

成果目標の達成状況						
項目	H24末 (実績)		H26			
供日		目標	成果	達成状況	目標	
緊急地震速報機器設置	15台	15台	10台	未達成	10台	
防災アドバイザー	5名	4名	4名	達成	4名	

目標に対 する成果 の状況

事業を実施した3市町村10校に緊急地震速報器を導入し、緊急地震速報を取り入れた実践的な防災訓練等に活用した。 委嘱した学校防災アドバイザーは緊急地震速報器導入校を訪問し、避難訓練を視察したり防災マニュアルに関し指導助言を行った。

2 今後の事業の方向性

人 然 古坐	□ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施
今後、事業 をどのよう	
にしていき	国との委託契約に基づき、緊急地震速報器新規導入及び過去の導入校を含めた小中学校それぞれを対象に学校防災アドバイザーを派遣し、引き続き指導助言を得る。
たいか	が追し、灯き続き相等功言を何る。